

# 「(仮称)吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」

## 概 要

平成27(2015)年9月2日

# 1 基本的な考え方

## 人口減少と地域経済縮小の克服

- 今後、本市においても本格的に「人口減少時代」に突入すると予想される。
- 人口減少は地域経済の縮小を招き、地域経済の縮小が人口減少をさらに加速するなど、負のスパイラルに陥る可能性がある。
- 地域経済及び市民生活の活力を維持し、本市が魅力ある都市として持続的に発展していくため、「(仮称)吹田市人口ビジョン」における今後の取組の基本的視点を踏まえ、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に取り組む。

### 《人口ビジョンにおける基本的視点》

- ①若い世代が就労・結婚・出産・子育ての希望を実現できる環境を整えます。
- ②「住みたいまち」としての魅力を高め、定住・転入を促進します。
- ③人口減少・超高齢化によって生じる課題に対応し、安心して暮らし続けられるまちを実現するとともに、健康寿命の延伸を図ります。

## 2 政策の企画・実行にあたっての基本方針

### 1 総合戦略の位置付け

「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や本市の「(仮称)吹田市人口ビジョン」などを踏まえ、平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5か年の重点取組をまとめた戦略として定める。

### 2 取組体制及びPDCAサイクルの整備

○吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会における総合戦略等の検討及び推進

○(仮称)吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議(学識経験者等の有識者及び市民)において意見聴取

### 3 政策の企画・実行にあたって

○本市の特性や強みを活かした施策を実施。また、民間事業者や大学・研究機関等との連携、広域連携などの観点も積極的に取り入れる。

○政策5原則(自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視)を踏まえた施策展開となるよう検討

### 3 今後の施策の方向

- 基本目標を定め、それぞれ数値目標を設定する。  
基本目標の達成に向けてどのような政策を推進していくかを基本的方向として定める。
- 基本的方向に沿って、5年間で実施する具体的な施策(アクションプラン)を定める。  
また、施策の成果や進捗を検証するため、客観的な重要業績評価指標(KPI)を設定する。

#### <4つの基本目標>

- ① 地域経済の活性化
- ② 都市魅力・定住魅力の強化
- ③ 就職・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 人口減少・超高齢社会においても持続可能なまちづくり

### 3 今後の施策の方向 ～アクションプラン～

#### 基本 目標 ① 地域経済の活性化

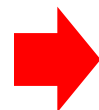
地域経済の活性化をもたらす企業・事業の育成及び誘致を行い、地域産業の競争力強化に取り組む。また、全国有数の開業率を誇る本市の強みを伸ばし、地域に新たなビジネスや雇用を創出する。さらに、女性や高齢者など多様な価値観・経験・技術を持つ人材が活躍し、能力を発揮できる環境を整備することで、成長力強化につなげる。

#### <2020年 数値目標>

- 開業率－廃業率 0ポイント (H24年 －4.4ポイント)
- 商店街等における空き店舗率 7.3%以下 (H26年度 8.9%)

#### <基本的方向>

- (1) 市内への企業移転・進出による地域産業の活性化
- (2) 創業・第二創業の促進による新たな事業や雇用の創出
- (3) 中小企業活性化による地域産業の競争力強化
- (4) 魅力ある商業地づくり
- (5) 北大阪健康医療都市における健康・医療産業等の創出



#### …アクションプラン (具体的な施策)の例…

- 「健都」における企業誘致や研究開発支援など
- 創業支援、市内定着促進のための支援、空き店舗対策など

### 3 今後の施策の方向 ～アクションプラン～

#### 基本目標 ② 都市魅力・定住魅力の強化

地域資源の効果的な活用や子育てしやすい環境の整備、教育・文化・スポーツ等によるシビックプライドの醸成、環境に配慮した安心安全で快適なまちづくりを行うなど、本市の都市魅力を強化するとともに積極的な情報発信を行うことにより、本市への転入・定住の促進及び交流人口の増加を図る。

#### <2020年 数値目標>

- 転入超過数 5年間で1万1,500人 (H26年 1,939人)
- 市民の定住意向 60%以上 (H26年度 57.8%) ※市民意識調査より
- 住みたい街ランキング (関西) 1位 (H27年 6位) ※「『SUUMO(スーモ)』みんなが選んだ住みたい街ランキング 関西版」より
- 観光施設利用者数 5年間で1億人 (H25年度 約367万人)

#### <基本的方向>

- (1) 大学・研究機関のあるまちを活かした魅力づくり
- (2) 地域資源を活かしたまちの魅力強化
- (3) 戦略的な都市魅力の発信
- (4) 環境に配慮した先進的なまちづくり
- (5) 安心安全かつ快適で機能的なまちづくり
- (6) 運動・スポーツによる活力あるまちづくり

#### …アクションプラン (具体的な施策)の例…

- シティプロモーションによる都市魅力の発信強化
- 憩いやくつろぎを感じるみどりのある空間の創出

### 3 今後の施策の方向 ～アクションプラン～

#### 基本目標 ③ 就職・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代が安心して就労し、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備する。また、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の確保に取り組み、安心して働きながら子育てできる社会を実現する。

#### <2020年 数値目標>

- 就労支援施策等による若年世代の就職者数 5年間で2,250人 (H26年度 299人)
- 市内大学生の市内企業への就職希望率 ●% (H27年度 ●% ※調査中)
- 安心して子育てができる環境にあると思う子育て世帯の割合 70% (H26年度 62.3%) ※市民意識調査より
- 保育所待機児童数 0人 (H26年度 24人)

#### <基本的方向>

- (1) 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現
- (2) 若い世代の雇用促進を通じた地元定着
- (3) 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- (4) 地域の子育て支援の一層の充実
- (5) 保育の量的拡大・確保
- (6) 妊娠・出産・子育ての希望の実現
- (7) 豊かな学びと心を育む学校づくり

#### …アクションプラン (具体的な施策)の例…

- 市内学生の地元企業への就職促進
- 吹田市版ネウボラ(妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援)の整備

### 3 今後の施策の方向 ～アクションプラン～

基本  
目標

#### ④ 人口減少・超高齢社会においても持続可能なまちづくり

今後の人口減少や高齢化の進展に伴う地域の変化によって生じる課題の解決に取り組むとともに、市民ニーズの変化に対応しながら都市機能の維持・向上を図り、誰もが安心安全に豊かに暮らすことができるまちづくりを行う。また、健康・医療のまちづくりを推進し、健康寿命の延伸を図る。

##### <2020年 数値目標>

○健康寿命 男性81歳 女性85歳 (H22年 男性79.94歳 女性83.66歳)

##### <基本的方向>

- (1) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
- (2) 健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸
- (3) 地域コミュニティの強化による安心安全のまちづくり
- (4) 市民ニーズの変化に応じた既存ストックのマネジメント強化



##### …アクションプラン (具体的な施策)の例…

- 吹田市版CCRC
- ポイント制度の導入等による健康づくりの取組